

第4期障がい福祉計画のサービス見込み量に対する実績について

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	28年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題	
指定 障害 福祉 サー ビス	訪問系 サー ビス	居宅介護	時間分 (月)	計画(a)	33,125	36,380	39,941		3	計画した見込み量に 対して、やや達成 できなかった (60%以上～80%未 満)	指定事業所におけ るヘルパー人材の 確保や利用者のニ ーズに応じた指定 事業所の確保が課 題である。
			実績(b)	26,561	27,193		74.7%				
		人分(月)	計画(a)	1,079	1,185	1,301		86.8%			
			実績(b)	960	1,029						
		行動援護	時間分 (月)	計画(a)	1,354	1,429	1,504		2	計画した見込み量 に対して、達成で きなかった (60%未満)	指定事業所が少な いため、利用者の ニーズに応じた指 定事業所の確保が 課題である。一方 で、複数の重度者 の施設入所があ り、一時的な利用 実績の減少があ った。
			実績(b)	783	730		51.1%				
	人分(月)	計画(a)	72	76	80		77.6%				
		実績(b)	62	59							
	同行援護	時間分 (月)	計画(a)	4,107	4,365	4,623		4	計画した見込み量 に対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	指定事業所におけ るヘルパー人材の 確保や利用者のニ ーズに応じた指定 事業所の確保が課 題である。	
		実績(b)	3,794	4,110		94.2%					
	人分(月)	計画(a)	191	203	215		100.0%				
		実績(b)	185	203							
重度訪問介護	時間分 (月)	計画(a)	13,383	15,915	18,447		2	計画した見込み量 に対して、達成で きなかった (60%未満)	指定事業所におけ るヘルパー人材の 確保や利用者のニ ーズに応じた指定 事業所の確保が課 題である。一方 で、利用者の長期 入院等により利用 実績の減少があ った。また、平成 26年4月からは、 知的・精神障がい 者で行動上著しい 困難を有し、常時 介護を必要とする 方も対象者として 拡大したため、行 動障がいの支援技 術を持つヘルパー の確保も課題であ る。		
	実績(b)	10,438	8,827		55.5%						
人分(月)	計画(a)	37	44	51		54.5%					
	実績(b)	26	24								
重度障がい者等包括支援	時間分 (月)	計画(a)	372	372	372		1	その他	指定事業所がない ため、他のサービ スで対応している。		
	実績(b)	0	0		0.0%						
人分(月)	計画(a)	1	1	1		0.0%					
	実績(b)	0	0								
日中 活動 系サ ービ ス	短期入所(福祉型)	人日分 (月)	計画(a)	1,394	1,445	1,496		5	達成できた(100% 以上)	必ずしも利用者の 希望に沿った利用 はできていないも の、事業所の新規 指定により、在宅 生活の充実は図ら れてきている。	
		実績(b)	1,552	1,999		138.3%					
	人分(月)	計画(a)	238	255	273		133.7%				
		実績(b)	251	341							
	短期入所(医療型)	人日分 (月)	計画(a)	190	197	204		3	計画した見込み量 に対して、やや達 成できなかった (60%以上～80%未 満)	事業所が病院等の 医療機関に限られ ているため、利用 者のニーズに応じ た指定事業所の確 保が課題である。	
		実績(b)	135	154		78.2%					
人分(月)	計画(a)	39	42	44		59.5%					
	実績(b)	27	25								
生活介護	人日分 (月)	計画(a)	28,798	30,096	31,460		4	計画した見込み量 に対して、ほぼ達 成できた(80% 以上～100%未 満)	利用者のニーズに 応じた指定事業所 、特に医療的ケア 、入浴サービス及 び強度行動障がい 者への支援の体制 確保及び、増加す る特別支援学校卒 業生の受け入れが 可能な指定事業所 の確保が課題であ る。		
	実績(b)	26,271	26,910		89.4%						
人分(月)	計画(a)	1,309	1,368	1,430		97.4%					
	実績(b)	1,313	1,333								

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の数字 を入力	達成状況	評価と課題	
指定障害福祉サービス	日中活動系サービス	療養介護	人分(月)	計画(a)	110	110	110		5	達成できた(100%以上)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題であるが、対象が医療機関であり、事業所が増えにくいという課題がある。
			実績(b)	109	110		100.0%				
		就労移行支援	人日分(月)	計画(a)	4,510	5,170	5,830		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	就労継続支援A型事業所の増加や就労支援機関の利用など選択肢が増えたことに伴い、就労移行支援の利用者数が減少した。利用者の就労ニーズに応じた指定事業所の確保が必要である。
				実績(b)	3,828	2,822		54.6%			
			人分(月)	計画(a)	205	235	265				
				実績(b)	174	154		65.5%			
		就労継続支援(A型)	人日分(月)	計画(a)	3,674	5,016	6,864		5	達成できた(100%以上)	指定事業所の増加に伴い利用者数も増加している。一方、生産活動の採算性が低い指定事業所があることから、運営の適正化が必要である。
	実績(b)			4,466	5,315		106.0%				
	人分(月)		計画(a)	167	228	312					
			実績(b)	203	246		107.9%				
	就労継続支援(B型)	人日分(月)	計画(a)	29,458	31,812	34,342		5	達成できた(100%以上)	指定事業所の増加に伴い利用者数も増加している。特別支援学校卒業生の受け入れについて偏りが生じる実態があることから、サービス希望者を安定的に受け入れられる体制の確保が必要である。	
			実績(b)	31,240	29,797		93.7%				
		人分(月)	計画(a)	1,339	1,446	1,561					
			実績(b)	1,420	1,545		106.8%				
自立訓練(機能訓練)	人日分(月)	計画(a)	462	462	462		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。		
		実績(b)	528	299		64.7%					
	人分(月)	計画(a)	21	21	21						
		実績(b)	24	21		100.0%					
自立訓練(生活訓練・日中)	人日分(月)	計画(a)	1,430	1,562	1,562		5	達成できた(100%以上)	指定事業所が増えたことにより、サービスの充実が図られた。今後も利用者のニーズに即したサービスを提供していく必要がある。		
		実績(b)	704	1,699		108.8%					
	人分(月)	計画(a)	65	71	71						
		実績(b)	32	109		153.5%					
自立訓練(生活訓練・夜間)	人日分(月)	計画(a)	547	547	547		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	指定事業所が少ないため、利用者のニーズに応じた指定事業所の確保が課題である。夜間のサービスのため事業所が増えない現状にある。		
		実績(b)	517	429		78.4%					
	人分(月)	計画(a)	18	18	18						
		実績(b)	17	15		83.3%					
サービス系	居住系	施設入所支援	人分(月)	計画(a)	648	648	648		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	待機者の定期的な現状確認を行い、必要なサービスの利用促進を図る必要がある。
			実績(b)	621	623		96.1%				
共同生活援助(グループホーム)	人分(月)	計画(a)	388	438	488		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	施設入所者・病院入院者が地域移行する際や、入所待機者の受け皿、また、親亡き後の住まいの1つとして有効であるので、適正量を勘案し、整備していく必要がある。		
	実績(b)	366	366		83.6%						
相談支援	計画相談支援	人(月)	計画(a)	734	769	804		5	達成できた(100%以上)	障害福祉サービス利用者の増加に伴い、サービス等利用計画の作成を担う相談支援専門員の確保が課題である。	
			実績(b)	805	849		110.4%				
	地域移行支援	人(月)	計画(a)	17	19	22		2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	地域移行支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	1	2		10.5%				
	地域定着支援	人(月)	計画(a)	28	28	28		2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	地域定着支援のシステム構築と、それを担う事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	2	3		10.7%				

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画 (a))	達成状況に 応じて1～5の数字 を入力	達成状況	評価と課題
障がい児支援	児童発達支援	人日分 (月)	計画(a)	1,837	2,145	2,508		5	達成できた(100%以上)	利用ニーズの増に対し、事業所数も増加しているため、サービス提供体制は確保されている。
			実績(b)	1,901	2,586		120.6%			
		人分(月)	計画(a)	167	195	228				
			実績(b)	203	295		151.3%			
	児童発達支援センター（福祉型）	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	新潟市立児童発達支援センターにおいて、日常生活における基本的な動作の指導をはじめ、知識技能の付与、集団生活への適応訓練の支援を行った。
			実績(b)	1	1		100.0%			
	医療型児童発達支援	人日分 (月)	計画(a)	113	113	113		5	達成できた(100%以上)	はまぐみ小児療育センターにおいて、日常生活における基本的な動作の指導をはじめ、知識技能の付与、集団生活への適応訓練及び治療を行った。
			実績(b)	140	140		123.9%			
		人分(月)	計画(a)	20	20	20				
			実績(b)	22	25		125.0%			
児童発達支援センター（医療型）	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	はまぐみ小児療育センターにおいて、日常生活における基本的な動作の指導をはじめ、知識技能の付与、集団生活への適応訓練及び治療を行った。	
		実績(b)	1	1	1	100.0%				
放課後等デイサービス	人日分 (月)	計画(a)	3,346	3,556	3,766		5	達成できた(100%以上)	利用者数が増加しているが、事業所数も増加しているので、サービス提供量の確保は見込まれる。一方で、利潤を追求し支援の質を疑われる事業所や、適切でない支援が疑われる事業所が増えているという課題があるため、行政による指導・監視強化を行う。	
		実績(b)	4,659	6,974		196.1%				
	人分(月)	計画(a)	478	508	538					
		実績(b)	426	533		104.9%				
保育所等訪問支援	人日分 (月)	計画(a)	2	2	2		1	その他	唯一の指定事業所が廃止届を提出したため、指定事業所がない状態である。事業所の確保が課題はあるが、サービス提供の在り方についての検討も必要である。	
		実績(b)	0	0		0.0%				
	人分(月)	計画(a)	2	2	2					
		実績(b)	0	0		0.0%				
障がい児相談支援	人分(月)	計画(a)	111	120	131		5	達成できた(100%以上)	障害児通所支援利用者の増加に伴い、障害児支援利用計画の作成を担う相談支援専門員の確保が課題である。	
		実績(b)	185	280		233.3%				
障がい児入所施設（福祉型）	人分(月)	計画(a)	24	25	26		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	福祉型入所施設において福祉サービスの提供を行った。(措置施設含む)	
		実績(b)	24	24		96.0%				
障がい児入所施設（医療型）	人分(月)	計画(a)	12	12	12		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	医療型入所施設において福祉サービスの提供及び治療を行った。	
		実績(b)	10	10		83.3%				
地域生活支援事業	理解促進研修・啓発事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	市民に広く障がいや障がいのある人、福祉についての関心や理解を深めてもらうため、「まちなか障がい福祉フェス(H28.12.4、イオンモール新潟南)」を開催した。
			実績(b)	有	有		100.0%			
	自発的活動支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	展示会・見本市・イベント・バザー等の開催・参加に係る経費等に対して補助金（授産製品販路拡大事業補助金）を交付した。
			実績(b)	有	有		100.0%			
	相談支援事業 障がい者等相談支援事業	箇所	計画(a)	4	4	4		5	達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターで役割を担っている。
			実績(b)	4	4		100.0%			
	基幹相談支援センター	設置の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	平成27年4月に市内4か所に開設し相談業務を担っている。
実績(b)			有	有		100.0%				
住宅入居等支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	基幹相談支援センターで役割を担っている。	
		実績(b)	有	有		100.0%				

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況に応じて1～5の数字を入力	達成状況	評価と課題	
地域生活支援事業	成年後見制度利用支援事業	人(年)	計画(a)	8	10	12		5	達成できた(100%以上)	事業が周知されてきたことに伴い、実績が計画を大幅に上回った。財源の確保が課題である。	
			実績(b)	22	35		350.0%				
	成年後見制度法人後見支援事業	実施の有無	計画(a)	有	有	有		5	達成できた(100%以上)	新潟市社会福祉協議会が実施する法人後見事業を支援した。	
			実績(b)	有	有		100.0%				
	コミュニケーション支援事業	手話通訳者設置事業	人(年)	計画(a)	11	11	11		5	達成できた(100%以上)	手話・要約筆記奉仕員等の派遣コーディネート業務と窓口に来庁した聴覚障がい者への情報支援がスムーズに行われた。
				実績(b)	11	11		100.0%			
	手話奉仕員・要約筆記奉仕員派遣事業	派遣延べ人数(年)	計画(a)	2,222	2,421	2,640		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	平日の昼間（公的機関・医療機関への受診等）の派遣申請が増えているため、通訳者の養成・確保が課題である。	
			実績(b)	1,956	2,067		85.4%				
	移動支援事業	人(年)	計画(a)	1,215	1,288	1,365		5	達成できた(100%以上)	登録事業所におけるヘルパー人材の確保や利用者のニーズに応じた登録事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	1,199	1,245		96.7%				
			延時間(年)	計画(a)	105,860	107,342	108,845				
				実績(b)	117,107	123,169					114.7%
	日常生活用具給付等事業	介護訓練支援用具	件(年)	計画(a)	55	55	55		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。
				実績(b)	42	45		81.8%			
自立生活支援用具		件(年)	計画(a)	187	187	187		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。	
			実績(b)	178	172		92.0%				
在宅療養等支援用具		件(年)	計画(a)	228	228	228		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。	
			実績(b)	211	205		89.9%				
情報・意思疎通支援用具	件(年)	計画(a)	195	195	195		5	達成できた(100%以上)	平成27年度から人工喉頭（埋込型人工鼻）、平成28年度から視覚障がい者用デジタル放送対応ラジオを給付品目に加えたことにより給付件数が増加した。		
		実績(b)	300	454		232.8%					
排せつ管理支援用具	件(年)	計画(a)	14,005	14,626	15,274		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。		
		実績(b)	13,084	14,002		95.7%					
居宅生活動作補助用具（住宅改修費）	件(年)	計画(a)	29	29	29		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	在宅の障がい者児の日常生活を容易にするため、障がいの内容や家庭の状況等に応じた給付品目の検討を行う必要がある。		
		実績(b)	24	21		72.4%					
地域活動支援センター	基礎的事業（自市分）	箇所	計画(a)	43	45	47		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	地域活動支援センターⅢ型事業所については、指定障がい福祉サービス事業所へ移行する事業所もあるので、総事業所数としては現状維持の状況にある。1日の利用者数が少ない事業所も見受けられるので、利用者の獲得について周知していく必要がある。	
			実績(b)	41	38		84.4%				
		人(年)	計画(a)	963	993	1,023					
			実績(b)	1,162	1,058		106.5%				
	基礎的事業（他市町村分）	箇所	計画(a)	2	2	2		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	利用者のニーズに応じるため、引き続き他市町村と連携を図る必要がある。（五泉市、新発田市、聖籠町、燕市、三条市と市外在住者の利用者に関する協定書を締結）	
			実績(b)	2	2		100.0%				
		人(年)	計画(a)	29	32	35					
			実績(b)	26	27		84.4%				
	機能強化事業（自市分）	箇所	計画(a)	31	33	35		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	Ⅰ型事業所は今後の設置計画、Ⅱ型事業所は入浴希望者数の増加等の課題があることから、利用者のニーズに応じた事業所整備の検討が必要である。	
実績(b)			31	28		84.8%					
人(年)		計画(a)	755	785	815						
		実績(b)	1,020	901		114.8%					

サービス種別		単位		27年度	28年度	29年度	27年度達成率 (実績(b)/計画(a))	達成状況に 応じて1～5の 数字を入力	達成状況	評価と課題	
地域生活支援事業	地域活動支援センター 機能強化事業（他市町村分）	箇所	計画(a)	2	2	2		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	利用者のニーズに応じるため、引き続き他市町村と連携を図る必要がある。 (五泉市、新発田市、聖籠町、燕市、三条市と市外在住者の利用者に関する協定書を締結)	
			実績(b)	2	2		100.0%				
		人(年)	計画(a)	29	32	35					
			実績(b)	26	27		84.4%				
	発達障がい者支援センター運営事業	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	今後もセンターとして支援体制の充実を図る必要がある。	
			実績(b)	1	1		100.0%				
		人(年)	計画(a)	1,200	1,200	1,200					
			実績(b)	1,039	1,272		106.0%				
	障がい児等療育支援事業	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	基幹相談支援センター（平成27年4月開設）に配属している障がい児支援コーディネーターが相談支援にあっている。	
			実績(b)	1	1		100.0%				
	専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業	要約筆記者養成研修事業	登録見込み者数	計画(a)	89	99	109		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	現在登録している奉仕員に対し研修会を実施するなど、より多くの要約筆記者の養成する必要がある。
				実績(b)	61	69		69.7%			
		盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業	登録見込み者数	計画(a)	53	56	59		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	高い技術を要する盲ろう者向け通訳・介助員をより多く養成するため、基礎となる手話や点訳の技術を有する奉仕員等に研修受講を働きかけていく必要がある。
				実績(b)	52	52		92.9%			
	専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業	盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業	実利用人数	計画(a)	11	11	11		5	達成できた(100%以上)	制度の周知を図り、潜在的なニーズを把握し、支援に繋げていく必要がある。
				実績(b)	11	11		100.0%			
			派遣延べ人数(年)	計画(a)	1,155	1,340	1,554		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	利用者の社会参加のために必要な支援を行うことができた。今後、利用者がより使いやすい制度となるよう制度の見直しをする必要がある。
				実績(b)	862	938		70.0%			
	日中一時支援事業	日分(年)	計画(a)	15,023	15,624	15,936		4	計画した見込み量に対して、ほぼ達成できた(80%以上～100%未満)	放課後等デイサービス事業所の増加により児童の利用者数は一旦減少したが、全体の利用者数では増加が見込まれることから、利用者のニーズ把握及びニーズに応じた登録事業所の確保が課題である。	
			実績(b)	16,733	14,491		92.7%				
訪問入浴サービス事業	人(年)	計画(a)	67	71	75		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	継続した利用者が多く、通所施設で入浴を実施する事業所も増加していることから極端に増加することはない見込みである。利用者のニーズを把握しながらサービスを提供していく必要がある。		
		実績(b)	54	47		66.2%					
更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業	件(年)	計画(a)	2,390	2,480	2,573		5	達成できた(100%以上)	概ね計画どおり利用者が増加し、社会参加の促進に寄与していくことができた。		
		実績(b)	2,416	3,174		128.0%					
福祉ホーム事業	箇所	計画(a)	2	2	2		2	計画した見込み量に対して、達成できなかった(60%未満)	残り1施設について、グループホームへの移行を視野に入れ今後の事業の継続を検討する必要がある。		
		実績(b)	1	1		50.0%					
	人(年)	計画(a)	13	13	13						
		実績(b)	9	8		61.5%					
障がい者ITサポートセンター運営事業	箇所	計画(a)	1	1	1		5	達成できた(100%以上)	教育・医療機関と連携することで、潜在的なニーズを掘り起こす必要がある。		
		実績(b)	1	1		100.0%					
手話奉仕員等養成研修事業	手話奉仕員養成研修	登録者数(人)	計画(a)	101	106	111		5	達成できた(100%以上)	登録者数は一定数確保されているが、より質の高い奉仕員を養成する必要がある。	
			実績(b)	112	124		117.0%				
	要約筆記奉仕員養成研修	登録者数(人)	計画(a)	121	126	131		3	計画した見込み量に対して、やや達成できなかった(60%以上～80%未満)	当事業の周知を図り、講座受講者を増やすとともに、質の高い奉仕員を養成する必要がある。	
			実績(b)	85	93		73.8%				